

◆戸別収集・有料化全市実施説明会 Q&A

平成 25 年 9 月 27 日（金） 午後 6 時半から午後 8 時半 場所 生涯学習センター
参加者 123 名

- 1 ごみ処理の課題と今後の対応
- 2 ご意見・ご質問への回答
- 3 戸別収集・有料化の映像説明
- 4 意見公募（パブリックコメント）について
- 5 質疑応答

Q 戸別収集だけの減量の効果はどれくらいなのか。

A モデル事業の結果の紹介になりますが、戸別収集のモデル事業を 3,500 世帯対象に行いました。3 地区の平均で実施前と実施後で約 10 パーセントの減量結果が出ました。3 地区のうち 2 地区で減少したという結果がでましたが、1 地区では増加しました。

戸別収集については、排出者責任の明確化によるごみ減量に対する意識と分別徹底によりごみを減らすことを目指しています。

Q 今泉クリーンセンターで 350 件クリーンステーションに関する苦情や問い合わせが入っていたということですが。

A 今泉クリーンセンターについては全市 7 万世帯のうち約 4 割の世帯をカバーしています。その中で苦情や問い合わせが年間約 350 件でした。

Q 戸別収集については改めて別途考えたほうが良いと思います。メリットが列挙されていますが、定性的なものが多く定量的なメリットの提示が乏しいです。戸別収集だからといって減ると言えるのでしょうか。有料化についてもモデル地区を別途設けて減量効果を見た上で判断するのがよいのではないのでしょうか。

A ご指摘のとおり、有料化については本市では実証データはありませんが、全国約 6 割の自治体で実施されており、それらの自治体のデータを確認することができます。

金額設定によって減り方が違うというデータがでていますが、鎌倉市の予定しているリットル 2 円については、全国的なデータからも減量効果の高いことが分かっています。

本来であれば、戸別でこれくらい有料化でこれくらいという正確なデータの提示が望ましいのですが、他自治体の例を参考にしつつ、蓄積されているデータを基に計画を進めて参りたいと考えています。

Q クリーンステーションを特例で継続する場合、収集コストは下がりますので、指定収集袋の価格を下げるなどの対応を検討されているのでしょうか。

A 今回の制度を説明するにあたり、集合住宅で専用のクリーンステーションがある住宅にお住まいの方で、これまでと集積場所が変わらない方についても同様に負担いただくことを説明しております。

戸別収集とクリーンステーション収集の方法に応じて指定収集袋の価格を変えるとなると、制度設計自体が構築困難であると考えており、一律の金額設定を考えております。

Q マテリアルリサイクルとサーマルリサイクルのベストミックスとは何ですか。

サーマルリサイクルでは、さらにごみが必要となる可能性があるのに、その逆のごみの減量の施策を進めようとしています。

A ミックスペーパーや植木剪定材など通常のリサイクル（マテリアルリサイクル）による

環境負荷やコストと焼却をして発電（サーマルリサイクル）する環境負荷やコストを比較した上で、どちらが優位な方法として考えられるかを検討し組み合わせていくことがベストミックスです。

サーマルリサイクルについては全てを燃やそうと考えていません。また、ご指摘のとおり、大きな炉を作れば、それだけ多くのごみを燃やし続けなければなりません。今後の減量施策を踏まえ、環境や経済効率も考慮した上で、適切な大きさの施設を検討する必要があると考えています。

Q ごみは私達が作っている訳ではないのに、分別を頑張っています。分別によって減らしてきて、これ以上減らないと思います。

A リサイクル率が上位であることと分別がしっかり進んでいるというのは完全に同じ意味ということではありません。鎌倉市の一つのデータとして家庭から排出される燃やすごみの約 25 パーセントがまだ資源化できるものとなっています。

もう分別出来ないと感じられる方もいるかもしれませんが、全市でデータとしてみると、1/4 がまだ資源化できるということになっています。

また、既に戸別収集・有料化を実施している藤沢市でも、実施前に資源物混入割合が 19 パーセントであったものが、10 パーセント未満に減少しています。

このようなことから、戸別収集・有料化については必要な施策であると考えています。

Q 各個人がカラス対策用のごみ箱を配置するということになっていますが、市の方では用意出来ないのでしょうか。

A 大きさ、適切なサイズ及び色については、各世帯で様々であることから、市が排出時に使用する箱を指定することは予定していません。各世帯にあったものをご用意頂くことをお願いしています。

Q 1世帯あたりの年間のごみ代はいくらくらいになるのでしょうか。また、その想定している世帯人数、子供のいる世帯や高齢者二人暮らし世帯などシミュレーションはされていますでしょうか。

A 1世帯あたりの人数は、市内平均で 2.4 人となっています。その平均で考えると、月約 500 円、1 年で約 5,000 円～6,000 円で想定しています。

Q 自治会内でのアンケートでクリーンステーション収集継続希望が 80 パーセント以上でした。特例的にクリーンステーション継続を認めるということでしたが、クリアすべき具体的な項目や基準はありますか。具体的なクリーンステーション番号が何番から何番を継続希望と伝えれば良いですか。

項目については市と話し合いをすれば良いですか。

A 自由に選択するというのは難しいので、特例的かつ限定的な取扱いを考えています。クリーンステーション収集を特例で認めても、戸別収集による効果と同じ効果を得られるのはもちろんですが、戸別収集で可能な 1 対 1 の排出指導と同程度の指導が可能なこと、不適切な排出に対する対応を構築できること、また、戸別収集とクリーンステーション収集が混在しない一定のエリアで収集体制を構築できることなどが条件として考えられます。

具体的な項目や基準については、現在色々のご意見を頂いており、ご意見を踏まえて改めてお示ししていきたいと思います。基本的には戸別収集と同じ効果が得られることは必要であると考えています。

Q 条例改正案の要旨は示されていますが、条例の具体的な新旧対象表のようなものが見当

たりません。

A 条例案については意見公募(パブリックコメント)の後で作成していくこととなります。

Q 有料化の自治体比率ではなく人口比率ではどのようになっていますか。また、戸別収集を実施している人口比率はどのようになっていますか。

個人的な見解ですが、処理能力のある他市に一定期間焼却を依頼し、その間に次の案を考えればよいのではないのでしょうか。

A 有料化を実施している全国の人口比率は39.5パーセントとなっております。戸別収集だけの人口比率はありませんが、戸別収集と有料化を行っている自治体は約15パーセントとなっております。

また、他市に焼却を依頼するという状況についてですが、現在の名越クリーンセンターの改修工事に伴い、他市に一部焼却をお願いしています。他市の状況にもよりますが、焼却をしている周辺の住民の方々からすれば「なぜ他市のごみを受け入れるのか」という気持ちになることも考えられます。

従って、永続的に他市に焼却を依頼するということは難しく、自区内で処理することが原則であると考えております。

Q 約2,000万人いる観光客がどの程度ごみを出しているのか把握していますか。また、観光客のごみを減らす気はありますか。

A 観光客の皆様にはごみを持ち帰って頂くようお願いしています。また、市内7箇所に分別式の大型ごみ容器を設置して、ごみの散乱を防止しています。年約70トンのごみを収集しています。

また、観光客は商店などの事業所を利用し、そこでごみを排出する機会も多いことが想定されますが、これらのごみについては、事業系ごみの分別指導等による減量を目指しています。

Q 認知症等により、いつ何をごみとして出すのかが分かっていない世帯が近所に若干数あるが、そのような世帯は戸別収集が始まった際に、これまでどおりクリーンステーションにごみや資源物を排出する可能性があります。そのような場合は、市が責任を持って対応してもらえるのでしょうか。それとも町内会で対応するのでしょうか。

A 市では声かけふれあい収集という制度を設けており、様々な条件の中で受付けているので、ご相談いただければと思います。また、昨年実施したモデル事業でも認知症の方への対応として、指導員が現場に伺って対応させていただくというケースもありましたので、基本的には市で対応させていただく形となります。

Q 袋の販売価格には消費税が含まれますか。

A 袋の販売価格には消費税が含まれているという考えです。

Q 私の地区は名越に近いのですが、交通対策や安全対策については何か考えがありますか。今泉搬入の車が全て名越に来てしまうのでしょうか。

A クリーンセンターへの搬入台数に制限がありますので、今後は名越クリーンセンターに家庭系のごみが持ち込まれるようになり、今泉クリーンセンターには事業系のごみが持ち込まれるようになります。従来、名越クリーンセンターに持ち込まれていた事業系のごみを今泉クリーンセンターに持ち込むようにすることで搬入車両の分散を考えています。

【ご意見】

- ・ 鎌倉市は高齢の方が多く、クリーンステーション管理が当番で回ってくると大変である

と聞きます。高齢者や子育て世代に優しく、精神的な負担も軽減されることから、私は戸別収集に賛成します。

- ・ 海外で実際に戸別収集を行っているところに住んでいますが、戸別収集になると精神的に減らそうと思います。

